

CS だより

第10号 令和6年9月

浜松市立積志中学校
CS コーディネーター
岡本 知之
CS ディレクター
北寒寺 知子

【第2回学校運営協議会 開催】

9月2日に第2回学校運営協議会が開催され、夏休みまでに行った2つの取組に関する報告と、それらの成果と今後の課題について意見交換が行われました。また、防災訓練や部活動の地域移行について話し合いが行われました。

詳細につきましては、積志中学校のホームページで学校運営協議会の議事録を公開しておりますので、ぜひご覧ください。



【学校運営協議会の取組についての報告】

今年度実施した3つの取組について報告します。

① 「夏休み学習室」の開催、学習支援ボランティアの募集

昨年度に引き続き「夏休み学習室」が開催されました。「夏休み学習室」には140名を超える中学生と、総勢40名（地域住民・保護者：5名、高校生：35名）のボランティアが参加してくれました。

どの生徒も、ボランティアの方々のアドバイスを聞きながら、夏休みの課題に熱心に取り組んでいました。参加した生徒からは、「楽しくわかりやすく教えてもらえて勉強がはかどった」「自分からは質問しづらかったがボランティアの方から気軽に声を掛けてもらえて嬉しかった」などの肯定的な感想が多く聞かれ、この取組に対して大きな成果があったと感じました。また、ボランティアの方々からは、前向きなご意見を多数いただきましたので、それを改善が必要な点として受け止め、来年度はさらに充実した取組になるようにしていきたいと思います。



② 祭典用法被の寄贈依頼

これは「体育大会のソーラン節で使用する法被の準備に苦慮する家庭が多くなってきているという状況があるので、地域の力を借りることはできないか」という学校からの要請を受けて、昨年度から行っている取組です。地域全体に法被の寄贈依頼を行ったところ、16人の方から合計31枚の寄贈がありました。おかげさまで、体育大会で生徒が着用する法被を、今年も無事揃えることができました。ご協力いただき、ありがとうございました。

③ 防災訓練

9月6日に防災訓練を行い、防災についての講演会を開きました。また、自治会や民生委員の方にお越しいただいて、生徒とグループワークを行い、学区の危険箇所を共有しました。

防災訓練を通して、中学生と地域が関わりをもち、地域の中で中学生が活躍できるような体制づくりをしていきたいと思います。

◎今回の学校運営協議会の取組にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。